

石巻エリア

石巻市 東松島市 女川町



日和山から眺めた5年目のまち並み（石巻市）



石巻エリアは、宮城県の東部に位置し、石巻市、東松島市、女川町の2市1町です。

石巻市では、平成27年9月に再建を進めてきた「石巻魚市場」が全面運用を開始しました。新施設は、岸壁の延長が約880メートルで国内最大規模となりました。また、最新の衛生管理システムを導入して水産物の付加価値を高め、国際的な販路拡大を目指しています。

女川町では、平成27年12月、駅前商業エリアの「まちびらき」が開催され、完成したテナント型商業施設「シーバルピア女川」には、仮設店舗で営業を続けていた商店や、新たに出店する店など27店舗が入居しました。

インフラ関連では、震災以降休止していたJR仙石線の高城町（松島町）―陸前小野（東松島市）間の復旧が完了し、全線で運行が再開されました。特に被害の大きかった東名、野蒜の両駅は、復興まちづくりに合わせ、約500メートル内陸側の高台へ移設されました。また、仙石線と東北本線が接続され、仙台―石巻間を最短52分（震災前から約12分短縮）で結ぶ仙石東北ラインも開業しました。

石巻エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,290人	10,550人
行方不明者	709人	1,238人
全壊	28,481棟	82,999棟
半壊	18,955棟	155,129棟

〔平成28年2月29日現在〕

応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成28年2月
プレハブ住宅	24,328人	12,098人
民間賃貸借上住宅	22,692人	6,271人
計	47,020人	18,369人

〔平成28年2月29日現在〕

災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成27年2月	平成28年2月
計画戸数	5,928戸	6,374戸
着手戸数	4,450戸	4,978戸
完了戸数	976戸	2,950戸

〔平成28年2月29日現在〕



石巻駅での仙石東北ラインの出発式（石巻市）



駅前商業エリアのオープニングセレモニー（女川町）

石巻エリアの定点観測

石巻市門脇町周辺

「災害に強いまちづくり」を目指し、土地
区画整理事業が進め
られています。写真
奥には、復興祈念公
園が整備される予
定です。



J R石巻駅周辺

被災により休止して
いる石巻市立病院が
平成28年夏にJ R
石巻駅前に移転再建
されることになり、
その工事が進めら
れています。



石巻市雄勝地区周辺

壊滅的な被害を受け
た雄勝地区は、被災
した建物が撤去され
、新しいまちづく
りに向けた整備が
進められています。



東松島市野蒜地区周辺

運河周辺に暮らして
いた方々の多くは、
高台で造成工事が
進められている「野
蒜北部丘陵地区」へ
集団移転する予定
です。



東松島市小野地区周辺

浸水する被害を受け
ましたが、写真左側
水路奥では、災害公
営住宅が整備され
ました。



女川町女川浜地区周辺

町の中心部が壊滅的
な被害を受けまし
たが、J R石巻線女
川駅の再開や駅前
商店街のオープン
など、復興まちづく
り事業が本格的に
進んでいます。



2015年3月22日 日曜日

女川駅ができるまでのカウントダウン 0

(女川町)



震災から4年が過ぎた3月21日、JR女川駅がめでたく再開してJR石巻線が全線開通となりました。この日を待ちわびていた地元住民はじめ県内外の皆さんが始発から詰め掛け、祝福するような青空のもと式典が

執り行われました。復興への大きな一歩です。

2015年4月7日 火曜日

心のケアが大切、「こころスマイルプロジェクト」

(石巻市)

「子どもたちが安心して過ごせる第三の居場所」に。非営利型一般社団法人「こころスマイルプロジェクト」は震災のトラウマから不登校になった子どもたちや家族を亡くして孤立している子どもたちのための居場所「こころスマイルハウス」を開所しました。



2015年5月2日 土曜日

秘境が広がる奥松島を回る魅力的な遊覧船

(東松島市)

奥松島にある嵯峨渓は日本三大溪の1つに数えられる景勝地。神秘的な断崖絶壁が魅力です。2013年10月に再開していた奥松島遊覧船に4月20日、新型船「嵯峨みらい」が加わり、ゴールデンウィークで訪れた観光客を楽しませました。



2015年5月27日 水曜日

女川町のまちびらきの中で祝福された2人

(女川町)

「新たな女川が芽吹いた春の日に夫婦としての第一歩を踏み出すことをここに誓います」「おながわ復興まちびらき復興祭」のステージイベントの最後は、ウェディングセレモニー。新郎は財務省から女川町に派遣されている応援職員の方です。



2015年6月4日 木曜日

「ありがとう!」と「おかえりなさい!」仙石線復活!!

(仙台市、東松島市、石巻市)

5月30日、途中区間の不通が続いていたJR仙石線がついに全線再開しました。石巻駅をはじめ各駅や沿線ではたくさんの人々が始発電車を見守り、車内では「電車に乗るの久しぶりだー。どこで降りるべなー」と乗客の声。復興の大きな一歩です。



2015年7月13日 月曜日

女川町の魅力がぎゅっと詰まった「あがいんステーション」

(女川町)

方言の「あがいん(召し上がれ)」と英語の「again(再び)」とで「再び笑顔あふれる街に」「女川のおいしいものを食べてほしい」。駅前地区の商業施設第1号、女川水産業体験館「あがいんステーション」がオープンしました。



2015年7月16日 木曜日

映像で女川を体感するまち歩き

(女川町)

女川のかつての姿と復興途上の現在とを見比べることができる映像作品が完成しました。町内5カ所に貼られた「映像で女川を体感するまち歩き」のポスターにスマートフォンをかざすと、過去に撮られた近辺の映像が流れます。女川に来なければ見ることができない映像です。



2015年7月27日 月曜日

森と海と温かな人に囲まれた子どもの学び場「MORIUMIUS」7月18日オープン

(石巻市)

旧桑浜小学校の廃校舎を利用して、子どもの学び場「MORIUMIUS(モリウミアス)」が誕生しました。子どもたちの学びの場として、また地元の人たちの集いの場として、そして日本、世界各地から来る人たちとの交流の場として生まれ変わりました。



2015年10月9日 金曜日

3つの道をつなぐ

(石巻市)

「三陸自動車道石巻女川インターチェンジ」「県道石巻女川インター線」が開通しました！救急病院へと続く「命を守る道」。水産拠点・女川の「復興を支える道」。そして石巻トゥモロービジネスタウンなど「拠点を活かす道」。3つの道をつなぐインターチェンジの誕生です。



2015年10月24日 土曜日

真の地域づくり～女川町と山元町の交流会

(女川町)

新しいコミュニティを作るために情報交換をと、災害公営住宅の住民同士の交流会が開かれました。「津波を経験した者同士だから、やっぱり思っていることは一緒だなー」新たな励み、新たな絆が生まれ、今後も親交は深まりそうです。



2015年11月12日 木曜日

「今」の風景～石巻市～

(石巻市)



震災から4年8カ月。石巻市の中心地区では市立病院や北上川河口に新たに掛かる「新内海橋（仮称）」の工事などが着々と進んでいます。仮設商店街が1カ

所を残して閉鎖された一方、リノベーションによる商業施設も生まれ、街は日々、変化しています。

2015年12月11日 金曜日

石巻市・新蛇田地区のまちびらき

(石巻市)

11月3日、石巻市の新蛇田地区で「まちびらき」が開かれました。ここはすでに400世帯以上が移り住み、最終的には1200世帯以上が暮らす被災地最大の防災集団移転団



地。こうしたイベントをきっかけに、住民同士の交流が少しずつ深まっています。

2015年12月22日 火曜日

第47回 女川町民弁論大会

(女川町)



「人間の命だけでなく、小さな命を守る世の中にしたい」「女川の食材を活かした料理人になりたい」。震災後2度目となる女川町民弁論大会が女川小学校で行われました。今年是一般の部も復活。将来の夢や町への想いなど一人一人力強く発表しました。

2016年1月9日 土曜日

子どもの権利条約フォーラム 2015 in 石巻

(石巻市)

被災地域では初開催となった「子どもの権利条約フォーラム」。「子どもが1人の主権者として、1人の人間として意見を言える環境になれば、豊かな社会になると思うんです」と、実行委員長の柴田さん。2日間にわたり行われたフォーラムでは大人と子ども、子ども同士で活発な意見交換が行われました。



2016年1月16日 土曜日

「高校生百貨店」～石巻から高校生バイヤー誕生!!

(石巻市)

石巻地域の高校生がバイヤーとなり、地元の魅力ある商品を発掘し販売までを手掛ける「高校生百貨店」がいよいよ始動！仙台市と大阪市で行う販売会に向け準備を進めています。第1回目のワークショップでは、あべのハルカス近鉄本店の社員による講義が行われました。



2016年2月5日 金曜日

サッカーの力でまちづくり

(女川町)

サッカー元日本代表監督の岡田武史氏が、自身が理事を務める一般社団法人グリーンケアパートナーの復興支援企画として女川を訪問。地元のサッカーチーム「コバルトレ女川」の近江社長兼GMとの対談では、サッカーを通じた街づくりと未来づくりについて話し合いました。

